

# 横田基地・日米友好祭

私が訪れたのは8月21日(日)＝最終日の午後4時頃。JR 青梅線牛浜駅を降りて、福生市民会館構内経由で第5ゲートに向かった。徒歩で約10分。途中、福生市民会館西側の公園では反対？集会と旅行会社の旗を振ってツアー客の集合を呼び掛ける風景を見かけた。「旅行会社にとっては仕事の対象になるんだ。」と感じ入ってしまった。人の波は途切れることなく続いていた。最終日夜に行われる花火見物の客もいたのだろうか。

以下、写真は天候不順(雨模様)と夕方という悪条件の中、暗さが否めない。



## 第5ゲート

国道16号を渡ると第5ゲート。数日前にはまだ閉まっていたゲートが、突貫工事で開けられていた。



## 第5ゲート

この看板には、たぶん、「自衛隊横田基地」と書かれるのだろうか。いずれにしても第2ゲートの「米軍横田基地」と同じデザインであることは確か。



## 第5ゲートの内側

手前のコンクリートブロックが、入ってすぐの障壁。正面の建物の両側にゲートがあった。

今回は左側の入り口が入場口だった。



### 第5ゲートの内側のゲート

入場第2関門。この手前でボディチェックと荷物の中身チェック。怪しい人は身分証明書が必要。

係員は、(今年は)まだ米軍関係者だ。



### 第5ゲートの内側の内側のゲート

入場第3関門。哨兵が立つであろうケージ状の建物の窓はトーチカのような形状。

なるほど軍事基地。

地面には車止めが仕掛けてある。



### 通りの名称

第3関門を入れてしばらく行くと左側に建てられた表示。〇〇Ave (アベニュー), 〇〇St (ストリート) の組み合わせ=アメリカだ。



### 基地司令部はどこだ？

上記 Hamilton St. を左側に行くと… このような建物が見える。このあたりの建物には、どれも374部隊の表示がされている。この奥あたりに横田基地司令部と自衛隊司令部があるはずだ。



### 基地司令部はどこだ？ その2

滑走路側から司令部方向を見る。

まったくわからないが、アンテナが林立しているこの建物の後ろ側あたりに司令部があるのか？

いずれにしても、簡単に出入りできないところに司令部があるのではないか。

この地域には、入れないように歩哨が立っている。

# 航空機以外

2011年8月20日-21日 横田基地・日米友好祭 ③

基地内では、さまざまな催し物が行われている。そして、No Tax?の物品が売られている米軍関係者の店。実は私は飲み食い・買い物をしたことがないので、それが本当か否か知らない。

出店には、基地関係者によるもの以外に、福生市の商店によるものもある。

さらに屋外ステージ、格納庫の中の屋内ステージ。ステージでは主として演奏が行われていたが、出演者には、米軍人だけでなく日本人も。



## ステージでのイベント

格納庫内のステージで行われていた米陸軍のビッグバンド。

さすがに恰好よかったけれど、体育館の中と同じで、音が反響しすぎて、何を演奏しているのか、音の輪郭は見えない。

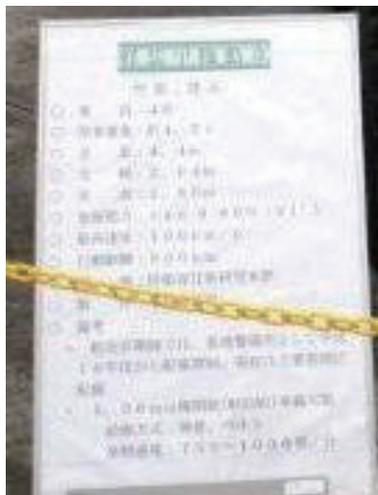
プログラムによると、ハワイアンダンスや、キッズダンス、日本人によるロックバンドや和太鼓、エイサ太鼓などの演奏も行われたらしい。



## 自衛官募集

こんなテントもあった。親子連れが見ているのは南極の石。

ここで自衛隊に入りたいと申し出る人はいるのか？ 戦争・航空機・武器マニアが本物の軍用機や武器を扱ってみたいと思うのか？



## 装甲車の展示

自衛官募集テント横には、自衛隊の装甲車が展示されていた。

# 航空機の展示

2011年8月20日—21日 横田基地・日米友好祭 ④

人々が集まるのは、主にこれがあるから。私は未確認だが、展示飛行、パラシュート降下訓練などの見世物も行われたようだ。



## 航空機地上展示エリア

とにかく広い。飛行場なんだから当たり前だけど。しかし、青森県の三沢基地はもっと広がった。そして、横田空域はとてつもなく広い！（ということを知らない人は多い。）



## 航空機地上展示エリア

### ・その2

ヘリコプター，小型輸送機，中型輸送機が西側に並べられていた。



## 航空機地上展示エリア・その3

戦闘機，JWACS，C17が東側に，そして，その真ん中にC5 = ヤラクシーが巨大な鎌首をもたげていた。



## 新・旧管制塔

南北に延びる滑走路・中央付近の東に管制塔が立っている。背の低いほうが旧管制塔～まだ壊していなかった。

(C) 横田・基地被害をなくす会

# — 自衛隊機 —

2011年8月20日—21日 横田基地・日米友好祭 ⑤

今年は自衛隊機は少ないのかと思っていたら、どうやら帰った後だったらしい。P3C, F2, E2C, C1, C130なども来ていたとのこと。

しかし、1964年の日米合同委員会合意事項で、横田基地を離着陸する飛行機は基地周辺で「曲技飛行を行わないこと」「マッハ1を超えて飛ばないこと」などが定められているにもかかわらず、日本の空自・ブルーインパルスが曲技飛行を行っていたことが、横田基地公害訴訟高裁で明らかになって以降、危険飛行は行っていないかと思ったら…。

自衛隊機のうち数機は、21日に各基地に帰る際に離陸直後に両翼を左右に振っていたことがYouTube投稿動画で確認された。日米合同委員会合意事項の本意を自衛隊＝防衛省が理解していないとしか思えない。事故を引き起こす可能性が高い危険飛行はやめるべきだ。事故が起きれば、ことは自衛隊機だけの、基地内だけの問題ではない。自衛隊機が横田に来て～帰るだけで周辺に被害を及ぼしているという自覚はないのだろうか。

以下の解説の多くはウィキペディアを参照してまとめたもので、正確かどうか自信はない。



## E767 (AWACS)

ボーイング767を母機とした早期警戒管制機。全長48.51m, 全高15.85m, 翼幅47.57m, 乗員: 操縦士2名+機器操作員19名, 巡航速度722km/h, 航続距離10,370km。胴体上部の円盤は直径9.41m, 厚さ1.83mで, 周囲360°にわたってレーダーの電波を照射している。E-3のシステムを移植する形で開発された。

米軍人はE-3 AWACSと区別するため, J-WACSと呼ぶ。

## CH-47JA (推定)

陸自配備の輸送ヘリ。全長30.1m, 胴体長15.54m, 胴体幅3.87m, 全高5.7m, 乗員2名, 積載能力: 兵員30名か担架24+衛生兵2名, 巡航速度260-270km/h, 航続距離2,060km。



## OH-6D

陸自配備の観測機ヘリ。全長9.24m, 胴体長7.23m, 胴体幅2.07m, 全高2.73m, 乗員1名(乗客3名), 巡航速度239km/h, 航続距離約550km。



## —自衛隊機—

2011年8月20日—21日 横田基地・日米友好祭 ⑥



よく見るとUH-1N。陸自のUH-1Jだと思われる。先般の台風12号被害の救助にも使用。

### UH-1J

輸送、武装、連絡など、多目的に使用される汎用ヘリ。

全長17.44m（主回転翼含む）、胴体幅2.86m、全高3.97m、主回転翼直径14.69m、乗員1～4名、積載能力：兵員11名か1,800kg、巡航速度200km/h、航続距離512km。

迷彩色に塗る必要はある？

## —米軍機—



### UH-1N

こちらは米軍機で、横田基地常駐機。

当サイト「横田基地の概要」～「常駐機」の項参照。

[http://www.geocities.jp/yokota\\_nakusukai/jyoutyuuki.html](http://www.geocities.jp/yokota_nakusukai/jyoutyuuki.html)



### UH-60

UH-1の後継機として開発。C5やC17に搭載できるよう、10tトラックと同じ容量・重量が求められた。

全長19.76m（主回転翼含む）、胴体幅2.36m、全高5.13m、主回転翼直径16.36m、乗員2名、積載能力：完全武装の歩兵約10名、巡航速度278km/h、航続距離2,220km。

(C) 横田・基地被害をなくす会



## UC - 35 D

尾翼に F U T E N M A の文字。  
普天間基地配備の輸送機。

全長 14.90 m, 全幅 15.91 m,  
全高 4.64 m, 乗員 2 名・乗客 8  
名, 最大速度 796Km/h, 航続距  
離 3,628km。



## F - 1 6

三沢基地配備（尾翼の文字 WW が三沢基地を表している）の戦闘機。 全長 15.03 m, 全幅 9.45 m, 全高 5.09 m, 乗員 1 名, 最大速度マッハ 2.02, 航続距離約 4,200km。

同機種で尾翼の文字に「WP」とあるのは、韓国クンサン基地配備の F 1 6。



## F - 1 5

F - 1 5 が横田基地に来るのは  
珍しくない。性能等は、当サイト  
「横田基地の概要」～「飛来機」の  
項参照。

[http://www.geocities.jp/yokota\\_nakusukai/hiraiki.html](http://www.geocities.jp/yokota_nakusukai/hiraiki.html)

尾翼の文字「LN」はイギリス・レイクンヒース基地配備を表し、今回は韓国に展開した後で横田を訪れたということらしい。



## F / A - 1 8

F - 1 5 同様、横田基地ではよく見かける。F - 1 5 同様、当サイト「飛来機」の項参照。

改良型のスーパーホーネットではないようだ。某ブログに「岩国基地にいるもの」と書かれていた。



## A - 10

単座，双発，直線翼を持つ近接航空支援専用機。戦車，装甲車その他の地上目標物などを攻撃し，地上軍を支援する任務を担う。韓国オサン基地配備（尾翼の文字OSがオサン基地を表している）。

機首下に露出した30mmガトリング砲が特徴的だ。

全長16.16m，翼幅17.42m，全高4.42m，乗員1名，巡航速度560km/h，フェリー航続距離4,100km。湾岸戦争，アフガン紛争，イラク戦争に投入された。



## C - 130H (上)

## KC - 130 (下)

C - 130については，当サイト「横田基地の概要」～「常駐機」参照。

[http://www.geocities.jp/yokota\\_nakusukai/jyoutyuuki.html](http://www.geocities.jp/yokota_nakusukai/jyoutyuuki.html)

このKC - 130は，普天間配備の空中給油機で，C - 130の改良型。上と下の明らかな違いはプロペラの羽根の枚数。上は4枚だが，下は6枚となっている。



## C - 12

当サイト「常駐機」参照。

[http://www.geocities.jp/yokota\\_nakusukai/jyoutyuuki.html](http://www.geocities.jp/yokota_nakusukai/jyoutyuuki.html)

基地に近いコースでの旋回訓練が多い。



## C - 17

当サイト「飛来機」参照。 [http://www.geocities.jp/yokota\\_nakusukai/hiraiki.html](http://www.geocities.jp/yokota_nakusukai/hiraiki.html)  
ほとんど毎日のように横田基地周辺を飛び交う。ほぼ常駐機に等しい。

今回の日米友好祭では、各地から数機飛来してきていた。上のC 17は「HH」のコードが入っており、ハワイのヒッカム基地配備のもの。そのほかに「AK」(アラスカ)のコードのC - 17を2機、その他不明の2機を確認した。とにかく多い。横田基地を通る輸送機の主役と言ってよいのでは。



## C - 5 (ギャラクシー) 当サイト「飛来機」参照。

[http://www.geocities.jp/yokota\\_nakusukai/hiraiki.html](http://www.geocities.jp/yokota_nakusukai/hiraiki.html)

下の胴体下の車の大きさ！ 尾翼にトラビスと表記があり、トラビス基地配備のC - 5であることがわかる。

機首を上にあげ、ここから荷物等を積む。

